



## 新たなる展開をめざして

池内 健治(自由が丘産能短期大学)

この数年、世界が大きく動いています。グローバル化が進む一方で、地域紛争が激しさを増し、それが世界中を巻き込む時代になりました。イスラム国、ウクライナ情勢、ギリシアの経済危機、ボコ・ハラムによるテロや拉致、エボラ出血熱の蔓延などなど、日本もその中で大きく影響を受けています。国内では、経済基盤が揺らぐなか、凄惨な事件が相次ぐなど、不安定な時代にさしかかっているように思えます。



このような時期にあって、2つの教育の重要性が増しています。広く社会に眼を向けてその本質を考えるための教養教育と、個人が自立して社会の中で生き抜くための職業教育です。わたしも、イスラムの政治・文化・経済を理解しようと思って、井筒俊彦「イスラーム文化—その根底にあるもの」を読み返してみました。イスラム教がなぜ大きく広がったのか、そして民衆は何を求めてイスラムを受け入れているのか、考えるきっかけになりました。根底を探ることの重要性を、今改めて感じる次第です。教養の本質は、遠く離れた人の気持ちを理解し、その思い行動に換えることではないでしょうか。

一方、職業教育の必要性は、わたしたちの学会に求められています。学会の研究をもとに社会への貢献をすること、それを十分に実現できていない現状に対して奮起することです。文部科学省の委員会で専門的職業人養成のための教育機関のありかたが議論されています。この議論は高等教育機関の存在意義を問い直すものになるのではないのでしょうか。日本ビジネス実務学会の実務教育研究は分厚い蓄積があります。しかしながら、蓄積に安住することから、これまでの研究の蓄積を基盤として時代の要請に対応する実践研究と教育開発へと、さらに一步を踏み出す必要があります。変化の時代にマッチしたビジネス実務研究へと、新たな展開をめざしたいものです。

次の総会で、池内は会長としての任期を終えることとなります。しかしながら、これからも皆さんと一緒に、ビジネス実務研究の新たな展開をめざして精進していくつもりです。互いの知見を高める学会として、切磋琢磨していきましょう。

### Contents

会長挨拶	1
委員会活動	2
2014年度ブロック研究会活動報告	
北海道、関東・東北ブロック	3
中部、近畿ブロック	4
中国・四国、九州・沖縄ブロック	5
発表一覧	6
2014年度ブロック運営委員名簿	8
事務局からのお知らせ・新入会員・第34回全国大会	8